

平成29年度 7月号



# 新座二中だより

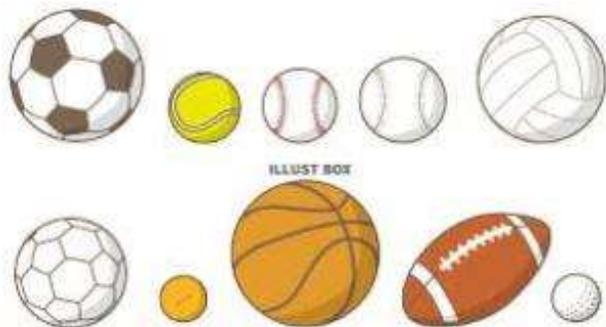
新座市立第二中学校  
新座市野火止 7-17-10  
電話 048-477-1212

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

## 「失敗」を学びに変え、人生の糧を見い出す生き方を

校長 田村 和昭

6月19日(月)、20日(火)、22日(木)に学校総合体育大会朝霞地区予選会が実施されました。朝霞地区四市(朝霞市・志木市・新座市・和光市)の公・私立の中学校20校が県大会出場をかけ、日頃の練習の成果を競い合いました。私も3日間、本校選手の応援のため各会場を回り、その感動的な活躍に立ち会ってまいりました。



### 負けに不思議の負けなし 勝ちに不思議の勝ちあり

さて、プロ野球の野村(元)監督の名言に、「負けに不思議の負けなし、勝ちに不思議の勝ちあり」があります。

負けるときは、負けにつながる要因がある(不思議な点はない)。しかし、勝つときには、(どうして勝ったのかどうも思い当たらないという)不思議な勝ちがあるということです。

私なりに解釈しますと「負けたときには、必ず理由がある。だから、自分に足りないことを素直に受け止め努力につなげる。一方で、負ける理由があっても幸運に恵まれ勝つこともある。したがって、勝負に勝ったとしてもおごることなく、さらに努力が必要である。順調であるときもおごることなく感謝の気持ちを忘れないこと」となります。

となく感謝の気持ちを忘れないこと」となります。

### 失敗経験から学ぶ

日々の部活動では、その競技の知識・技能の習得を目指す中で、仲間との絆を強めながら幾度となく成功や失敗を経験します。特に「失敗」は部活動の意義・価値であり、「努力の種」になります。仮に部活動がなければ、練習でミスをしたり試合で負けたり、顧問の先生から厳しく叱られたり、レギュラーから外れ悔しさを感じたりすることはありません。しかし、部活動には失敗すればするほど逆にうまくっていくという利点が隠れているのです。これは、失敗体験から成功するための改善を学び、上達に向け努力を繰り返すことで忍耐力と精神力が養われていくことに他ならないのです。

部活動に付き回る「失敗」を学びに変え、人生の糧を見い出して欲しいと思います。

さらに部活での経験は、将来仕事やプライベートに生かされます。自分のこれからの人生のなかで失敗することはあっても、あきらめることはない。努力するという強い自分自身の意志がある限り、心が折れない人になるでしょうし、順調であるときもおごることなく感謝の気持ちを忘れない人にもなるでしょう。

学校総合体育大会から、部活への思いを書いてみました。…・二中生に栄光あれ。